資料４

大源太キャニオンの位置付け

・観光振興計画に示された土樽エリアの戦略

エリア	エリア特性	主要な観光資源	エリア別戦略の方向性
土樽	・リゾートマンションが多数建設されている。 ・スポーツを軸にした、レジャー拠点としての整備に力を入れている。	・スキー場 ・岩の湯 ・フィッシングパーク ・大源太キャニオン ・旭原花の郷、陶芸工房等	・豊かな自然や、自然の中でのスポーツ体験に、温泉やまち歩きの楽しみを付加していく。 ・ファミリーやグループでの利用客をターゲットとして想定 ・１次産業を観光と結び付けた体験型の観光と食やオリジナル品の提供を行う

・観光振興計画に示された土樽エリアの整備イメージ

自然やスポーツの楽しみ方を提供するレジャーエリア

・土樽エリア内の観光スポットが集積する３区分について整理すると以下の通り

土樽エリア	区分内の特性	主要な観光資源	区分内の方向性
１ 大源太キャニオン及びその周辺	・美観を備えたダム湖を中心として体験型観光施設が集積している	・大源太湖・希望大橋、遊歩道・キャンプ場・体験工房、陶芸工房	・絶景ポイントと体験型観光施設、アウトドアアクティビティにグルメスポットでの食事の楽しみ。
２ 湯沢中央公園・岩原周辺	・スポーツ施設が集積している上に、足湯や芝生公園、桜並木など散策や憩いの場となっている	・レストラン・湯沢中央公園 ・足湯・穴沢河川公園 ・レジャープールオーロラ	・豊かな自然の中でのスポーツ体験等に、温泉や飲食の楽しみ。
３湯沢フィッシングパーク周辺	・手軽に楽しめるアウトドアアクティビティとホタル観賞、温泉施設、寺など多様な楽しみ方が可能	・フィッシングパーク・川遊びスポット・岩の湯・ホタルの里・瑞祥庵	・初めてでも楽しめるアウトドアアクティビティを中心に、エリア内での周遊など多様な楽しみ方を提案。

・観光振興計画で想定していなかったこと
大源太湖畔への大型観光バスの来訪。